

# 新教育課程のスタートにあたって

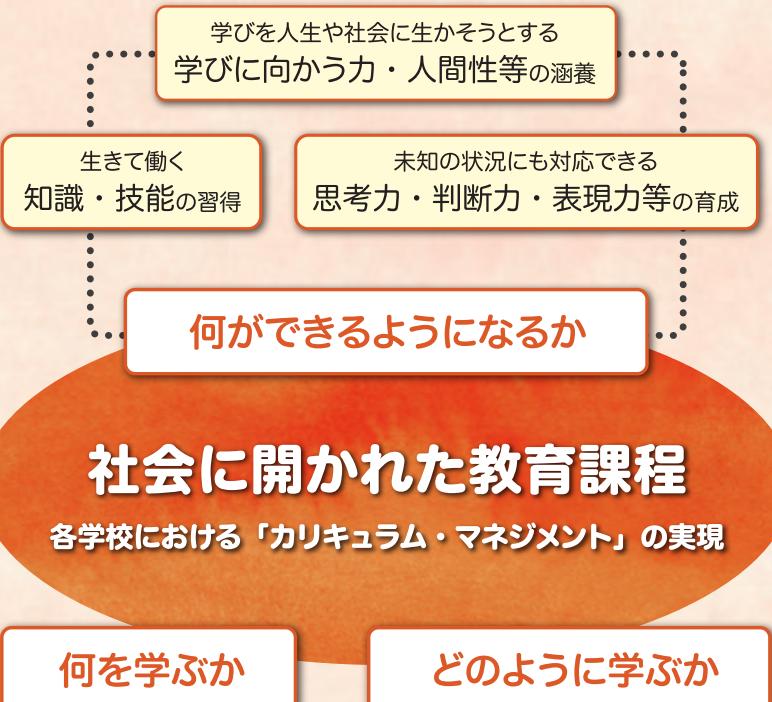
～未知の状況にも対応できるように～

## はじめに

2020年4月の新教育課程完全実施まで、あと1年を切りました。

中央教育審議会答申<sup>\*</sup>で引用された「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」との予測に象徴されるように、私たちは、予測困難な時代に生きています。このような時代に向けて、今回の学習指導要領改訂では、右図のような改善の方向性が挙げられました。

\*文部科学省、2016年



## 主体的・対話的 で深い学び

今回、すべての教科等の授業改善に、「主体的・対話的で深い学び」の視点が求められています。

特に「深い学び」については、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きさせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解する、問題を見いだして解決策を考えるなどが、具体的に示されました。

これらの視点から優れた授業改善が実現し、確かな資質・能力を育成することができます。

## カリキュラム・マネジメント

新しい時代に必要な資質・能力を育むために、子どもたちの姿に基づくカリキュラム編成や、教科横断的な視点などの工夫が、各学校に求められています。

### ●スタートカリキュラム

小学校生活の始まりに、多くの学校で生活科を核として実施が進むカリキュラムです。今回の新教育課程では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、幼児期の遊びを小学校での学びにつなげることがさらに重視されています。



#### ▲スタートカリキュラム（生活上・巻頭）

### ▲スタートカリキュラム（算数1年・巻頭）

## ●教科間連携

小学校入学当初だけでなく、すべての学年で、各教科等の内容を相互に関連付けて組み立てることで、より効果的な学びにつながっていきます。

**理科につながる 算数のまと**

● ぼうグラフ

粘土を色に塗いたら、ぼうグラフで表現してみましょう。

本の重いものがどこ

手の重さ (mL)	50	100
白磁	7はい	14はい
三つわん	2はい	4はい

● 本の重いものがどこ

本の重さ (mL)	白磁	三つわん
50	7	2
100	14	4

● 角のかき方

分母を導き、10, 50, 100の大きさの3の値を引き比べづ。

▲教科間連携（理科 5 年・p180）

## プログラミング的思考

「小学校におけるプログラミング教育必修化」も関心の高いトピックです。小学校段階では「身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことを重視」することが示され、具体的な単元等は、算数や理科で例示されました。

The screenshot shows the title screen of the 'わくわく算数ひろば' app. On the left, a QR code is circled in red with an arrow pointing to the text '△Pマーク' below it. The main title 'わくわく算数ひろば' is displayed prominently in large, colorful letters. Below the title, there is a subtitle '学びをいかそう' and a button labeled '算数ラボ'. At the bottom, there is a programming exercise with a box containing a 'P' icon and the text 'コンピューターやロボットは、いろいろな命令を組み合わせて動かします。命令の組み合わせのことをプログラムといいます。'.

▲Pマーク  
プログラミング的思考力  
育める活動のマーク  
(算数5年: p236)

◀ シミュレーション  
でも確かめよう  
(理科 6 年 · p182)



## ● 実際の活動を通して

## プログラミング的思考を育成

巻末の切り取り教具(算数)や「プログラミング用シート&シール」(理科)を使ったり、QRコードからアクセスできるデジタルコンテンツを用いたりすることで、より体験的な学習を展開できます。